

障害のない社会をつくる

～ 多様な個性が活かされる教育と社会を～

new policy
1

多様な個性を生かす 教育の実現



教育 × ちがいをチカラに

日本の教育システムは、大勢の管理という点においては優れている一方、多様な個性を伸ばすことには適していません。タブレット導入も始まり民間のコンテンツの成長も著しいものの、教育のシステムが追いつかず、現場の先生方も混乱しています。私は、一刻も早く、子ども達一人一人のチカラを引き出し、伸ばし、可能性を広げる教育の仕組みをつくりたいと考えています。

new policy
2

全ての人に キャリア形成の機会を

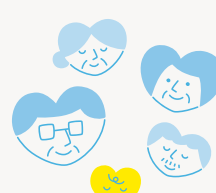


働き方 × ちがいをチカラに

出産や育児をきっかけに働く機会を失ったお母さん達、就職ができずブランクを抱えている方、キャリアアップの機会を得られていない方、働くことに感じる「障害」は本当に多様です。一人一人が求める働き方も、ライフステージにより様々だと思います。働くことの尊厳と、一人一人の成長を促す仕組みをつくりたいと思っています。

new policy
3

安心して持続可能な 社会保障の再構築



社会保障 × ちがいをチカラに

人生100年時代においては、これまでの社会保障システムは機能しません。高齢者から若者まで、全ての国民に活躍の場があり、元気で安心して暮らせる社会をつくるのが重要です。「就労しやすい社会づくり」「個性・多様性を尊重し支えていく環境づくり」「社会保障の持続可能性の重視」など、少子高齢化という最大の壁に立ち向かうための抜本的な社会システム改革を実施していきます。

new policy
4

規制改革と イノベーション、DX



社会構造 × ちがいをチカラに

「規制改革」「イノベーション」「DX（デジタルトランスフォーメーション）」これらは遠いようで、実は私たちの生活に大きな影響をもたらす概念です。コロナ危機では、オンライン診療や遠隔教育の拡大の分野で遅れが浮き彫りになりました。こうした遅れは、雇用、投資、医療介護、農林水産業、デジタルガバメントなど、あらゆる分野に存在しています。決して手遅れになることなく、「障害」となる規制を改革し続けていきます。

new policy
5

クリエイティブ 産業立国



産業 × ちがいをチカラに

日本には、世界から「クール（カッコいい）」と捉えられる「魅力」が沢山あります。「食」、「アニメ」、「ポップカルチャー」などに限らず、様々な分野で世界の関心を集め、無限に拡大していく可能性を秘めています。世界からの「共感」を得ることを通じて日本のブランド力を高め、世界中の日本ファンを増やし、日本のソフトパワーを強化する政策を実現していきます。

MESSAGE

金村りゅうなの決意

発達障害と呼ばれる子ども達の教育に身を置く中で、「障害」は個人ではなく社会の側にあるのではないかと思うようになりました。子ども達は皆が可能性の塊です。教育や社会が、彼らがチカラを発揮しやすいようにアップデートしたら、どれだけ皆幸せになれるだろうか。その思いが私の原点です。福祉の現場だけでなく、社会の様々なところに越えるべき障害は存在します。私は、教育や雇用をはじめ、様々な分野にひそむ社会の側の「障害」を取り除き、誰もが生き生きとチカラを発揮し、命を謳歌できる世界を、人生をかけて、つくりたいと思っています。



PROFILE

金村りゅうなについて

- 1979.4 愛知県名古屋市生まれ
- 2002.4 衆議院議員 城島光力事務所に入所
- 2006.5 神奈川県川崎に事務所を移転
- 2012.10 財務大臣秘書
- 2013.7 児童発達支援施設「みなぞら園」の1教室目を開業
- 現在 川崎市内で児童発達支援施設を8施設経営



PLAN

昭和に制定されたルールを見直す改革

実は、我々のごく身近なところに、乗り越えるべき「障害」は存在しています。例えば、教育、育児や働き方、老後のあり方、産業や社会のあり方そのものも、アップデートすべき時を迎えています。こうした社会に横たわる「障害」を一つ一つ取り除いていくことが必要です。私は、「多様な個性を生かす教育の実現」「全ての人へのキャリア形成の機会創出」「安心して持続可能な社会保障の再構築」「規制改革とイノベーション、DX」「クリエイティブ産業立国」の5つの政策を実現し、誰もが生き生きと命を謳歌できる世界をつかっていきます。